

平成30年度淀川区区政会議 第2回教育・子育て部会 議事要旨

日 時：平成31年1月29日（火）18:30～20:15

場 所：淀川区役所 5階 504会議室

出席者：

- ・委員7名（7名中）
泉水委員（議長）、和田委員（副議長）、石田委員、岡鼻委員、中道委員、福島委員、山本委員
- ・区役所
西総務課長、久保政策企画課長、榊原教育支援担当課長、川谷保健・子育て支援担当課長、大下保健福祉課福祉担当課長代理 外

内 容：

1. 開会
2. 事務局あいさつ
3. 議題
 - (1) 区政会議の運営について
 - (2) 2019年度運営方針素案からの修正について

資 料：

次第、部会名簿、座席表

- ・資料1 区政会議に関するアンケート結果
- ・資料2 淀川区区政会議の運営について
- ・資料3 2019年度運営方針に関する意見への対応方針
- ・資料4 2019年度運営方針素案からの修正一覧
- ・資料5 2019年度運営方針（案）（概要版）
- ・資料6 2019年度運営方針（案）様式2
- ・資料7 淀川区2019年度（平成31年度）区長自由経費予算
要求額一覧
- ・資料8 区政会議における2019年度 運営方針に関する意見への対応方
（子育て支援）（学校教育支援）

[その他] 「よどマガ! 1月号」、「YODO-REPO 47号」、ご意見票

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 議題

(1) 2019年度運営方針素案からの修正について

【子育て支援】

○資料3、資料4、資料8について説明

(川谷保健・子育て支援担当課長)

●子育て支援担当から委員の意見をお聞かせ願いたいこと

子育て支援室では毎日のように児童虐待の疑いのあるケースに対応しています。児童虐待が多い要因として、子育てについて相談できる人がおらず孤立孤独を感じている等様々なフォローを必要とする子育てでしんどい思いをされている保護者が多いと感じております。地域において、こういう事をしているという事例やこういう事ができないか等のご意見を是非お聞かせ頂きたいです。(川谷保健・子育て支援担当課長)

- ・最近も虐待で小学生が亡くなったという話がニュースでありましたが、なかなかなくなりません。行政も対応はしてくれていると思いますが、行政、児童相談所がやることは決まっているので、それ以上やりようがないのではないのでしょうか。子育てをされている当事者自身ではなく、周りの人に変わってもらうようにしないとなくならないのではないかと思います。子育てをされている当事者を助けながら、同時に周りの人の意識を変えていくような事に目を向けた方が少しは虐待がなくなっていくのではないかと思います。(中道委員)

⇒区役所でも、区内の保育所、幼稚園、学校を巡回し、いろんな情報をキャッチしようと取り組んでいます。併せて、区役所の子育て支援室では、何か困った事があれば、相談して頂けるという事も情報提供させて頂いております。(川谷保健・子育て支援担当課長)

- ・幼児教育の無償化に伴って、現場で働いている保育士さんの負担が増えるのではないかと心配です。今からでも想像ができる事や何かが変わってきている事とかありますか。(岡鼻委員)

⇒幼児教育の無償化が進めば、負担が軽くなることにより保育所入所を考
える方が増加し、待機児童問題がより深刻になるかもしれないと懸念し
ております。また、保育士の人材確保も問題になっております。大阪市で
も関係部局で、保育士の質を落とさずに保育士を確保する取り組みを進
めていこうとしています。取り組みの一つとして、講習を受けて頂いたら
保育士に準じるような資格を得られる制度もございます。(川谷保健・子
育て支援担当課長)

【学校教育支援】

○資料3、資料4、資料8について説明
(榊原教育支援担当課長)

- ・来年度は、漢字検定を中学校に加えて、小学校を追加するという事です
が、漢字で読解力がつくのか少し疑問に思います。(中道委員)

⇒漢字検定については、直接的ではないですが、子どもたちにまず漢字に親
しんでもらうことにより、少しでも国語力向上につながっていくきっかけ
になればいいと考えております。(榊原教育支援担当課長)

【区政会議後の補足】

- ・漢字検定では、漢字の「読む」「書く」だけでなく、漢字の意味を理解し、
文章の中で適切に使える能力の向上もめざしています。その目的の達成
のためには、日ごろ、学校での読書ボランティアの皆さんの活動や家庭で
の読書などの取組が非常に大きいとも考えております。区役所ではそう
した活動を支援するため、各小学校に整備した「はぐくみ文庫」のさらな
る充実等を、地域ボランティアの皆さんと相談しながら今後も進めてい
きたいと考えておりますので、引き続きのご支援よろしくお願ひします。
- ・私は図書ボランティアをしており、読解力をつけるには読書が一番いいと
思います。本が好きな子は本当にすごく読みますが、全く興味がない子は
本当に読みません。読む事自体が嫌いな子には、漫画でもとにかく文字を
読む事から始めたらいいいと思います。図書ボランティアをしてて思う事
は、学校の先生もすごく忙しそうだし、子ども達も忙しそうで、学校自体
が余裕がないと感じます。学校にもよると思いますが、何か改善ができた

らいいと思いますすがなかなか難しいです。(中道委員)

⇒私達も子どもさんや教員の方が忙しいというのは実感しております。このため、学校はもとより地域や保護者、PTAの方々等からもいろいろご意見を頂きながら、体力については、学校に講師を派遣する等授業の中にサポートとして入り込むような取り組みができています。

学力についてもそんなサポートができたらいいいと思いますが、授業に入り込むようなサポートは、現在、学校教育法や先生の位置づけがあり難しいところです。(榊原教育支援担当課長)

【区政会議後の補足】

- ・ 大阪市の 31 年度予算では、学校の負担軽減のための取組として、教員の長時間勤務解消するための「スクールサポートスタッフ配置事業」や学校での様々な課題に対応するための「大阪市版スクールロイヤー事業」などが新たに盛り込まれているところです。
- ・ 地域の小学校では、ボランティアが図書室を開放していますが、図書室がかなり離れていて、子ども達も遊びを優先するのでなかなか利用してもらえない。各階の廊下に本を入れた小さな箱を置いたところ、休み時間等に読んでくれているみたいです。(山本委員)
- ・ 地域の小学校でも移動書架を職員室前に置いて本を読んでもらうようにしていたり、玄関に本を並べ子どもが本に親しめるような工夫をしています。(石田委員)
- ・ 教室の前に担任の先生がセレクトした本を 10 冊か 15 冊並べてあり、休み時間でもあいている時に読んでもらえるようにしています。
区役所では直接指導できないと思いますが、声を出して本を読むという事はすごく大事だと思います。自分で読んでいるだけだと読めない漢字があっても飛ばして読んでしまいますが、音読し誰かが読んでいるのを聞くと読み方がわかるようになります。学校の教科書をみんなで 5 分でもいいので全員で声を出し音読すると、耳からも入るし、本を一人で読むのが苦手な子もいてるのでいいと思います。(福島委員)

⇒区役所で開催した「ものがたりのちから」という絵本展の中で、中学校の

生徒さんが読み聞かせをしてくれたのですが、聞いている子ども達のためにもなりますが、読み聞かせをしてあげている生徒さん達のためにもなると思いました。

今の学力テストはすごく難しいので、問題を見た瞬間にあきらめる事がないように読解力を強化していかないといけないと思います。(榊原教育支援担当課長)

●学校教育支援担当から委員の意見をお聞かせ願いたいこと

ヨドネルも引き続き取り組んでいこうと思いますが、皆様のご意見を参考に来年度以降は、子ども達だけに働きかけるよりも保護者や子ども達を取り巻く大人達にも働きかけていきたいと考えております。それについてやそれ以外にもヨドネルの取り組みに対してご意見をお聞かせください。(榊原教育支援担当課長)

・睡眠時間を削ってでもゲームやLINEの為にスマホを見続けている子ども達が多いと聞くので、ルールを決めたり、使い方の講習会をしてあげる事が必要だと思います。また、子ども達の睡眠に対するアンケートは、子ども達が答えるものなので、睡眠時間に布団には入っているが、寝てはいない時間も含まれており、本当の睡眠時間ははかれていないので、アンケートの取り方にも少し工夫が必要だと思います。(福島委員)

・私は消費者センターでボランティアをしていますが、LINEの使い方によっては意図しないで個人情報などを教える等の危険を知らないで子ども達が使っているように思い心配しています。携帯電話を持つような時期に学校全体で勉強会を開催する等の取り組みをした方がいいと思います。(山本委員)

⇒文部科学省のスマホの使い方の冊子を淀川区で増刷し、小学校・中学校の卒業時や学校からの要望にお応えしてお渡ししています。また、学校から要望があれば講習会も開催していますので、更に力を入れていきたいです。(榊原教育支援担当課長)

・今の子ども達は、スマホや携帯でクラブ活動の連絡を行うので必要になる。また、夜にオンラインでゲームに参加しないと次の日に仲間外れにされてしま

うそうです。(石田委員)

- ・スマホのルール、使い方をきちっと教えてから渡さないと大変な事になる。(山本委員)

- ・携帯電話の会社が売るときに、保護者が管理をするというもとで売ってほしい。区役所には、携帯電話の怖さの周知をしてもらいたいです。(福島委員)

⇒保護者の方を中心に働きかけを考えていきたいと思います。(榊原教育支援担当課長)

(2) 区政会議の運営について

意見交換

①全体会議について

- ・前半に説明があり、何か意見がありますかと言われても、対象が広すぎて何に意見していいかわからない。具体的にこの部分についてどう思いますかと聞かれた方が意見を言いやすい。
- ・資料が多く、敷居が高く感じる。もっと敷居を低くしてほしいが、このままでいいという人もいるかもしれない。
- ・質問が交わされている内容の中にも時々私には理解できないときがある。現状では、みんなああいう場では聞きにくかったり、手を上げてマイクで言うほどの事でもないというのもある。本当にわからなかったら質問はできると思うが、わからないところもわからなかったりする。小グループだと例えば横の人に、今、どこのこと言ってた？みたいな事が聞けるぐらいの余裕もあってもいいと思う。審議なので中断できないかもしれないが、途中の休憩をちょっと何か間に挟んでもらってもいいのかと思います。質問されている方に、今のど

ういうことで質問されたんですかとかを聞けたらいいと思います。

- 区政会議は、折角意見が聞ける場なので、意見を聞いてもらった方がいい。要旨にしないといけないのであれば、区役所が調整して作ればいい。
- どうしても口の字型を変えないなら、今の並び順ではなく、部会ごととかに並びを変えたらどうでしょうか。
- まずは、部会ごとのグループで集まり、慣れてきたら、シャッフルして、いろんな人の意見を聞いてみたいと思います。

②今回の部会について

- 断然、話しやすくなりました。今日は、いろんな意見を聞けたので、すごく参考になりました。図書の事例も地元の小学校ではやっていないので、早速先生に提案してみようと思います。